

ほ 場 整 備 工 事	表土扱い 基盤造成 表土整地	基盤造成 表土整地	基盤造成 表土整地	基盤造成 表土整地	基盤造成 表土整地	基盤造成 表土整地	基盤造成 表土整地	基盤造成 表土整地	基盤造成 表土整地	基盤造成 表土整地	表土扱い 基盤造成 表土整地
	舗 装 工 事	不陸整正 下層路盤 上層路盤 Co 舗装 As 舗装 砂利舗装	下層路盤 上層路盤 Co 舗装 As 舗装 砂利舗装 ※1	—	—	下層路盤 上層路盤 Co 舗装 As 舗装	—	—	—	—	不陸整正 下層路盤 上層路盤
施工管理／監督・検査要領		1, 2, 6, 7, 8	1, 2, 6, 7, 8	1, 2, 3, 4, 5, 7, 8	1, 2, 6, 7, 8	1, 2, 5, 7, 8	1, 2, 6, 7, 8	1, 2, 7, 8	1, 2, 7, 8, 9, 10	1, 2, 8, 9, 10	
備考											

凡例 ○適用可 —適用外

※1 断面管理のみ適用可、面管理には適用外

※2 床掘にも適用可

【要領等一覧】

- | | | |
|---|----------------------------|-------|
| 1 | 情報化施工技術の活用ガイドライン | 農林水産省 |
| 2 | ICTを活用したモデル工事の手引き | 岐阜県 |
| 3 | UAVを用いた公共測量マニュアル（案） | 国土地理院 |
| 4 | 公共測量におけるUAVの使用に関する安全基準（案） | 国土地理院 |
| 5 | 航空局標準マニュアル | 国土交通省 |
| 6 | 地上レーザースキャナを用いた公共測量マニュアル（案） | 国土地理院 |
| 7 | 三次元点群データを使用した断面図作成マニュアル（案） | 国土地理院 |

- 8 LandXML1.2 に準じた 3次元設計データ交換標準 同運用ガイドライン 国土交通省
- 9 ICTバックホウの情報化施工管理要領 (案) 中部技術事務所
- 10 ICTブルドーザの情報化施工管理要領 (案) 中部技術事務所

(参考2-2) モデル工事の適用範囲

1. TS等光波方式出来形管理技術
(断面管理)

工 種	出来形管理項目	施工規模	
共通工事	掘削	基準高、幅、法長、施工延長	1 件の工事における扱い土量の合計が 1,000m ³ 以上
	盛土	基準高、幅、法長、施工延長	
	栗石基礎、砕石基礎 砂基礎、均しコンクリート	幅、厚さ、施工延長	
	コンクリートブロック積み コンクリートブロック張り 石積 (張) 工	基準高、法長、施工延長	土工、ほ場整備工事及び舗装工事の施工規模と同様 (土工、ほ場整備工事及び舗装工事の関連施工工種として実施することとする)
	コンクリート側溝工 コンクリート管渠工	基準高、幅、高さ、施工延長	
管水路工事	管体基礎工 (砂基礎等)	幅、高さ	1 件の工事における扱い土量の合計が 1,000m ³ 以上
ほ場整備工事	基盤造成、表土整地	基準高	1 件の工事における施工面積が 1.0ha 以上
舗装工事	下層路盤工	基準高、幅、厚さ、中心線のズレ、 施工延長	1 件の工事における施工面積が 3,000m ² 以上
	上層路盤工	幅、厚さ、中心線のズレ、施工延長	
	コンクリート舗装工 アスファルト舗装工	幅、厚さ、中心線のズレ、施工延長	
	砂利舗装工	幅、施工延長	

(面管理)

工 種		出来形管理項目	施工規模
共通工事	掘削	基準高、幅、法長、施工延長に代えて、水平又は標高格差を管理	1 件の工事における扱い土量の合計が 1,000m ³ 以上
	盛土	基準高、幅、法長、施工延長に代えて、標高較差を管理	
ほ場整備工事	基盤造成、表土整地	基準高に代えて、標高較差を管理 (他の管理項目は従来手法による)	1 件の工事における施工面積が 1.0ha 以上

2. TS (ノンプリズム方式) 出来形管理技術

工 種		出来形管理項目	施工規模
共通工事	掘削	基準高、幅、法長、施工延長に代えて、水平又は標高格差を管理	1 件の工事における扱い土量の合計が 1,000m ³ 以上
	盛土	基準高、幅、法長、施工延長に代えて、標高較差を管理	
ほ場整備工事	基盤造成、表土整地	基準高に代えて、標高較差を管理 (他の管理項目は従来手法による)	1 件の工事における施工面積が 1.0ha 以上

3. UAV 空中写真測量出来形管理技術

工 種		出来形管理項目	施工規模
共通工事	掘削	基準高、幅、法長、施工延長に代えて、水平又は標高格差を管理	1 件の工事における扱い土量の合計が 1,000m ³ 以上
	盛土	基準高、幅、法長、施工延長に代えて、標高較差を管理	

	コンクリートブロック積み コンクリートブロック張り 石積（張）工	基準高、法長、施工延長	土工、ほ場整備工事及び舗装工事の施工規模と同様（土工、ほ場整備工事及び舗装工事の関連施工工種として実施することとする）
	コンクリート側溝工 コンクリート管渠工	基準高、幅、高さ、施工延長	
ほ場整備工事	基盤造成、表土整地	基準高に代えて、標高較差を管理（他の管理項目は従来手法による）	1件の工事における施工面積が1.0ha以上

4. T L S 出来形管理技術

工 種	出来形管理項目	施工規模	
共通工事	掘削	基準高、幅、法長、施工延長に代えて、水平又は標高格差を管理	1件の工事における扱い土量の合計が1,000m ³ 以上
	盛土	基準高、幅、法長、施工延長に代えて、標高較差を管理	
	コンクリートブロック積み コンクリートブロック張り 石積（張）工	基準高、法長、施工延長	土工、ほ場整備工事及び舗装工事の施工規模と同様（土工、ほ場整備工事及び舗装工事の関連施工工種として実施することとする）
	コンクリート側溝工 コンクリート管渠工	基準高、幅、高さ、施工延長	
ほ場整備工事	基盤造成、表土整地	基準高に代えて、標高較差を管理（他の管理項目は従来手法による）	1件の工事における施工面積が1.0ha以上
舗装工事	下層路盤工	基準高、幅、厚さ、施工延長に代えて、基準高、厚さ又は標高較差を管理	1件の工事における施工面積が3,000m ² 以上

	上層路盤工	幅、厚さ、施工延長に代えて、厚さ 又は標高較差を管理	
	コンクリート舗装工 アスファルト舗装工	幅、厚さ、施工延長に代えて、厚さ 又は標高較差を管理	

5. UAVレーザー出来形管理技術

工 種		出来形管理項目	施工規模
共通工事	掘削	基準高、幅、法長、施工延長に代えて、水平又は標高格差を管理	1件の工事における扱い土量の合計が1,000m ³ 以上
	盛土	基準高、幅、法長、施工延長に代えて、標高較差を管理	
ほ場整備工事	基盤造成、表土整地	基準高に代えて、標高較差を管理 (他の管理項目は従来手法による)	1件の工事における施工面積が1.0ha以上

6. 地上移動体搭載型LS出来形管理技術

工 種		出来形管理項目	施工規模
共通工事	掘削	基準高、幅、法長、施工延長に代えて、水平又は標高格差を管理	1件の工事における扱い土量の合計が1,000m ³ 以上
	盛土	基準高、幅、法長、施工延長に代えて、標高較差を管理	
ほ場整備工事	基盤造成、表土整地	基準高に代えて、標高較差を管理 (他の管理項目は従来手法による)	1件の工事における施工面積が1.0ha以上

7. RTK-GNSSを用いた出来形管理技術
(断面管理)

工 種		出来形管理項目	施工規模
共通工事	掘削	基準高、幅、法長、施工延長	1件の工事における扱い土量の合計が1,000m ³ 以上
	盛土	基準高、幅、法長、施工延長	
	栗石基礎、砕石基礎 砂基礎、均しコンクリート	幅、厚さ、施工延長	
ほ場整備工事	基盤造成、表土整地	基準高	1件の工事における施工面積が1.0ha以上

(面管理)

工 種		出来形管理項目	施工規模
共通工事	掘削	基準高、幅、法長、施工延長に代えて、水平又は標高格差を管理	1件の工事における扱い土量の合計が1,000m ³ 以上
	盛土	基準高、幅、法長、施工延長に代えて、標高較差を管理	
ほ場整備工事	基盤造成、表土整地	基準高に代えて、標高較差を管理 (他の管理項目は従来手法による)	1件の工事における施工面積が1.0ha以上

8. 施工履歴データを用いた出来形管理技術

工 種		出来形管理項目	施工規模
ほ場整備工事	基盤造成、表土整地	基準高に代えて、標高較差を管理 (他の管理項目は従来手法による)	1件の工事における施工面積が1.0ha以上

9. 施工履歴データを用いた出来形管理技術

工 種		施工規模
共通工事	掘削、床掘	1 件の工事における扱い土量の合計が 1,000m ³ 以上
	盛土	
ほ場整備工事	表土扱い、基盤造成、表土整地	1 件の工事における施工面積が 1.0ha 以上
舗装工事	不陸整正、下層路盤、上層路盤	1 件の工事における施工面積が 3,000m ² 以上